

## 日付またぐ攻防 県選出議員は

# テロ防止に意義 大沼氏

# あまりにも横暴 舟山氏

参院本会議で改正組織犯罪処罰法が可決されたのは15日午前7時50分前。法相への問責決議案、内閣不信任案など、日付をまたいで与野党の攻防が続いた。可決後、自民の大沼瑞穂参院議員(県選挙区)は「テロ対策に向けて国際社会と緊密に連携できる」と意義を強調。民進会派の舟山康江参院議員(同)は「あまりにも横暴なやり方。官邸主導で全てが決まってしま

う」と憤った。衆院本会議が再開されたのが午前0時すぎ。午前2時前に内閣不信任案が否決されると、攻防の場は再び参院へと戻った。

午前3時半、秋野公造参院法務委員長が「中間報告」を行い、休憩を挟み再開された本会議で怒号が飛び交う中、採決が行われた。前夜から何度も繰り返しされた記名投票の光景。大沼氏は淡々と賛成票を投じ、舟山氏は反対票を掲げ、「絶対反対」の意思を示した。

充実した審議が重ねられていたが、問責決議案でそれが打ち切られた」とし、「国際組織犯罪防止条約(TOC条約)締結で、国際社会としっかり連携していける」と語った。

可決・成立後、取材に対し、大沼氏は疲労の色をうかがわせながら「委員会

舟山氏は「(中間報告を経ての採決という)一連の手続きは、良識の府として積み上げてきた参院の歴史を根底から崩した」と強調。「これがありなら委員会も質疑も必要なく、官邸の意向で全て決まってしまふ。危ない状況だ」と怒りが収まらない様子だった。

## 日付またぐ攻防 県選出議員は

# テロ防止に意義 大沼氏

# あまりにも横暴 舟山氏

参院本会議で改正組織犯罪処罰法が可決されたのは15日午前7時50分前。法相への問責決議案、内閣不信任案など、日付をまたいで与野党の攻防が続いた。可決後、自民の大沼穂穂参院議員（県選挙区）は「テロ対策に向けて国際社会と緊密に連携できる」と意義を強調。民進会派の舟山康江参院議員（同）は「あまりにも横暴なやり方。官邸主導で全てが決まってしま

う」と憤った。衆院本会議が再開されたのが午前0時すぎ。午前2時前に内閣不信任案が否決されると、攻防の場は再び参院へと戻った。

午前3時半、秋野公造参院法務委員長が「中間報告」を行い、休憩を挟み再開された本会議で怒号が飛び交う中、採決が行われた。前夜から何度も繰り返しされた記名投票の光景。大沼氏は淡々と賛成票を投じ、舟山氏は反対票を掲げ、「絶対反対」の意思を示した。

充実した審議が重ねられていたが、問責決議案でそれが打ち切られたとし、「国際組織犯罪防止条約（TOC条約）締結で、国際社会としっかり連携していける」と語った。

舟山氏は「（中間報告を経ての採決という）一連の手続きは、良識の府として積み上げてきた参院の歴史を根底から崩した」と強調。「これがありなら委員会も質疑も必要なく、官邸の意向で全て決まってしまっ

た。可決・成立後、取材に対し、大沼氏は疲労の色をうかがわせながら「委員会

で」

のが午前0時すぎ。午前2

時前に内閣不信任案が否決

されたと、攻防の場は再び